

# 有明教育芸術短期大学紀要

## 第 15 卷

## 目 次

### 子ども教育学科

#### <研究論文>

Society5.0における特別活動の役割 …………… 石井友行 3

保育者養成校における表現指導についての研究

～模擬保育実践を通して～…………… 山田麻美子 17

保育者を目指す学生の「観察する力」「記録する力」「考察する力」を向上させる  
指導方法に関する一考察

——テキストマイニングを活用した「子どもの観察記録」の感想の内容分析——  
…………… 赤坂澄香 29

#### <研究ノート>

在日朝鮮学校との共同研究について

——千葉ウリハッキョでの日朝教育研究会の授業研究——…………… 山崎早苗 43

初年次教育における宿泊研修が与える影響に関する一考察

——有明教育芸術短期大学の1年生宿泊研修における参加者の変容をもとに——  
…………… 佐野匡 石井友行 57

#### <その他>

eスポーツと教育 …………… 伊庭崇 71

ゲームを通じた子供の学力向上～ゲームの役割と影響～…………… 若林次郎 77

# The Bulletin, Ariake College of Education and the Arts

Vol. 15

## CONTENTS

### Course of Childhood Education

#### < Original Articles >

The role of "Tokkatsu" in Society5.0 ..... Tomoyuki Ishii 3

A Study on Expression Instruction in Nursery School  
~ Through simulated childcare practice ~ ..... Mamiko Yamada 17

A Study on Teaching methods to improve the "Ability to observe", "Ability to record,"  
and "Ability to consider" of students aiming to become childcare workers  
—Analysis of Impressions of "Children's observation records" Using Text Mining—  
..... Sumika Akasaka 29

#### < Research Note >

Joint research about Korean school in Japan  
——the Japan and Korea Study Group research lesson study in Chiba Urihakkyo  
..... Sanae Yamazaki 43

A Study on the Influence of Overnight Training in First-Year Education  
——Based on the Transformation of Participants in the First-Year Overnight  
Training Program at Ariake College of Education and the Arts—  
..... Tadashi Sano Tomoyuki Ishii 57

#### < Others >

e-sports in Education ..... Takashi Iba 71

About improving children's learning abilities through games  
..... Jiro Wakabayashi 77

## 執筆・投稿要領

本学紀要の執筆・投稿に関する要領については以下の通りとする。

1. 投稿原稿は、執筆者自身によるオリジナルな学術研究に基づく未発表のものとする。
2. 執筆は1人1編とする。ただし、共著原稿の第2執筆者以降の場合にはこの限りではない。
3. 原則として、共著原稿の場合は文責（役割）を明記する。
4. 二重投稿は禁ずる。
5. 投稿の種類は、教育や芸術分野の「研究論文」、「研究ノート」、「その他」とする。
  - (1) 研究論文：当該研究分野において、独創的な研究結果、新規な方法・結果で信頼性が認められ、学問、教育の発展に役立つ内容を明瞭に記述したもの、理論、実験などに関して、学術的な研究成果を理論的にまとめたもの。
  - (2) 研究ノート：当該研究分野において研究の基礎データになる資料調査・実践報告・事例調査など報告、あるいは理論構築の可能性が認められたもの。
  - (3) その他：ある研究に関する部分的報告、芸術作品の提示に関する「作品」、当該研究分野に価値のある学術的、芸術的な内容を紹介し、その内容に対する評価を述べる「書評」など。
6. 原稿の構成

原稿の構成は次のとおりとする。

- (1) 表題（和文及び英文）
  - (2) 著者名（和文及び英文）
  - (3) 所属機関（和文及び英文）
  - (4) 要旨（和文400字以内、又は英文200ワード以内とし、本文と同言語）
  - (5) キーワード（5語以内、本文と同言語）
  - (6) 本文（和文又は英文）
  - (7) 脚注・参考文献・引用文献
7. 原稿の書き方
    - (1) 原稿の長さ：400字詰め原稿用紙に換算して40枚（和文16,000字、英文8,000語）以内とし、図、表、写真もこれに含める。その範囲を超える場合には執筆者の実費負担とする。
    - (2) 原稿は、ワードプロセッサによって作成し、手書き原稿は原則として認めない。
    - (3) 使用言語：和文又は英文とする。
    - (4) 書式：原則として横書きとする。印字の大きさは10.5ポイントとし、A4判用紙（36行×40字）とする。なお、数字は半角とする。
    - (5) 見出し：原則として次に掲げるポイントシステムとする。  
(章) I. II. III.  
(節) 1. 2. 3.
      - (1) (2) (3)
    - (6) 図（写真を含む）及び表：通し番号（図1、表1、写真1）およびタイトル等を付けること。
    - (7) 文献の記載及び注のつけ方：文献の記載順序は著者のアルファベット順を、記載方法は以下の例を原則とする。また注は全て本文末注とする。

### ①和文学会誌、和文雑誌の場合

記載例

寺西立年1977「聴覚系での識別臨界速度と情報処理能力」『日本音響学会誌』33(3)  
pp136-143

論文タイトルは一重カギ「」で、また掲載誌名は袋カギ『』で表記し、著者名 発表年  
論文タイトル 雑誌名 巻(号) 頁(pp)の順に記載すること。

### ②和文書籍の場合

記載例

安藤由典1996『楽器の音響学』音楽之友社

著者名 出版年『著書名』出版社名の順とすること。

③英語、欧語の場合

記載例

Buchthal, F. 1966 Evoked action potentials and conduction velocity in humane sensory nerve. *Brain Res.*, 3, pp1-27

Fitzgerald, J., Gottscalk, P. and Moffitt, R. 1998 An analysis of sample attrition in panel data, The Michigan panel study of income dynamics. *Journal of Human Resources*, 33, pp251-299

- ・印欧語以外のものは、著者名、論文名、書籍雑誌名、発行所（出版社等）、発行年（月日）の順をそろえ、原語で表記のこと。印欧語以外の言語に関してはオリジナルの文字版下を提出すること。
- ・アルファベット表記の際、文頭と固有名詞のみ大文字にすること。
- ・著者名（苗字、名前、いずれも立体）、発行年、論文名（立体）、ついで雑誌名または書籍名（いずれもイタリック体）、録ページの順に記載すること。
- ・書籍がA氏の編著であり、そこに論文が収録されている場合は、論文名の後にin A, ed. 書名、pp90-102とする。編著者が複数の場合はin A and B eds.と記載すること。

④インターネット情報の場合

記載例

有明教育芸術短期大学 <<http://www.ariake.ac.jp/>>（2023年4月1日）

タイトル URL 最終閲覧日の順に記載すること。

8. 投稿手続き

- (1) 投稿を希望する者は、所定の申込用紙に必要事項を記入の上、期限内に委員会に申し込むものとする。
- (2) 執筆を認められた者は、執筆・投稿要領に基づいて作成された印字原稿2部および記憶媒体を期限内に委員会に提出するものとする。なお前者を正とし、後者を副とする。

9. 校正

- (1) 校正は執筆者の責任において行い、初校までとする。
- (2) 校正に当たって、ミスプリント以外的大幅な修正は認めない。
- (3) 校正は赤字で明示するものとする。
- (4) 初校の期間は14日以内とする。

10. 別刷

- (1) 別刷は1原稿につき30部まで無料とする。
- (2) 30部を超える部数については、その費用を執筆者の負担とする。

11. 返却

印字原稿および記憶媒体は、紀要完成後に著者に返却する。

12. 著作権許諾処理

本文中に写真、図像、楽譜等の掲載をする場合は、あらかじめ著作権者に掲載の許可を書面で得ることとする。

転載をする場合は、出典を明記すること。

---

第15巻	令和6年3月20日印刷	編集	有明教育芸術短期大学 学術情報委員会
	令和6年3月20日発行		有福一昭〈委員長〉
発行	有明教育芸術短期大学		菊地大介
	〒135-0063 東京都江東区有明 2-9-2		赤坂澄香
	TEL : 03-5579-6211 FAX : 03-5579-6212		西尾真利〈庶務〉
	URL : <a href="http://www.ariake.ac.jp/">http://www.ariake.ac.jp/</a>	印刷	株式会社松本文信堂